

体育科学習指導案

単元名（題材名）「バスケットボール」〔学指要領：（E）、ア〕

令和7年11月21日（金） 第5校時 体育館

富岡市立高瀬小学校 6年1組 指導者 武田 健太郎

I 単元（題材）の構想

1 単元（題材）の目標及び児童（生徒）の実態

	目標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームができる。	・児童は、昨年度バスケットボールの学習でハーフコートのアウトナンバーゲームを経験している。パスやシュート、キャッチなどの基本的な技能を学んでいるが、技能差が大きい。
思考力、判断力、表現力等	・ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・昨年度のバスケットボールの学習では、パスを通すための工夫を考える経験をしている。空きスペースを見つけて動くことができる児童もいたが、その力には個人差が見られた。
学びに向かう力、人間性等	・運動に積極的に取り組もうとし、ルールを守り助け合って運動をしようとしていたり、仲間の考え方や取組を認めようとしていたり、場や用具の安全に気を配ったりできる。	・ボール運動については、進んで取り組む児童が多い。しかし、自信の無さからゲームになると消極的な取組になってしまい児童もいる。

2 評価規準

知識・技能	① バスケットボールの行い方について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 自分がフリーの時にシュートを打つことができる。 ③ 近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ④ ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。
思考・判断・表現	① チームの特徴に応じた作戦を選び、自己の役割を確認している。 ② 簡易化されたゲームで、自己や仲間が行っていた動き方の工夫や考えたことなどを、動作や言葉を用いて、他者に伝えようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	① バスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。 ② ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。 ③ ゲームを行う場や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。

3 指導及び評価の計画（全10時間：本時第6時）※ 詳細は別紙参照

Ⅱ 本時の学習（6／10）

1 ねらい チームで選んだ作戦を生かしながら、フリーの状態をつくるための動き方や練習を考え、試行し、声や合図で伝え合うことを通して、オールコートでの攻め方を工夫できるようにする。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 本時のめあてをつかむ。(4分)</p> <p><めあて></p> <p>作戦を生かして、フリーになるためにどんな動きをすればよいか考え、声や合図で伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チームで作戦や練習、動き方を確認する。 S : 前回練習した三角形作戦に取り組んでみたい。 S : そのためにはみんなでパスをもっと回せるようにすることが必要だ。 S : 三角形を意識して守りのいないところへ動こう。 ○ 個人のめあてを設定する。 S : 空いている場所に動き、味方に分かりやすく合図を出そう。 S : パスをもらうために動きながら声で伝えたい。 S : 作戦を意識して、パスがつながる動きを試してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チームの作戦を共有したうえで、個人のめあてを立てる時間を設け、自分の役割や動きに目を向けるようにする。 ○児童が本時のチーム練習で課題意識をもてるよう、作戦成功に必要な技能について前時までにまとめた資料を提示する。 ○チームの作戦に関わる話合いは、チームのよさに目を向けることができるよう助言する。
<p>2 準備体操・運動を行う。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主運動につながる準備体操・運動を全体で行う。 簡単なボール操作、ドリブル、パス、シュート 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が上達を感じられるよう、準備体操・運動は単元の導入時から継続して実施する。 ○基礎技能が上達するよう、正確にできるようになるためのポイントを必要に応じて助言する。 ○準備運動でなぜこの動きが必要かを児童が意識して取り組めるようにするために、教師が「ゴールに対して斜めから打つと決まりやすいよ」「どう体を回すとパスやシュートが出しやすいか考えてみよう」と声をかけ、成功したら短く称賛する。
<p>3 チームごとに練習を行う。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム練習やミニゲーム練習などを行う。 S : パスを早く出せるように、ナンバリングパスの練習を意識して取り組もう。 S : パスからシュートにつなげられるように、パスパスシュートの練習で動きと声を試そう。 S : チームでゲームを想定して練習し、味方とタイミングを合わせて動こう。 ・ 3対2（ハーフコート）など S : 走るだけじゃなく、走り出すタイミングも大事だね。 S : 走っている人の前にパスを出すとフリーになれるよ。 S : 次は〇〇さんにパスを早めにしてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童がスムーズにチーム練習に取り組めるよう、練習メニューを用意する。 ○児童がボールを持たないときの動き出しのタイミングに意識を向けられるよう、「次は誰がフリーになれる？」など問い合わせる。 ○児童の課題の解決に近づくよう、パスやシュート、ドリブルのどのプレーをすればいいのか問い合わせや助言を行う。 ○児童が仲間に気づきを伝え合うことができるようするために、教師が見ている児童に「〇〇さんがフリーだよ」といった声かけの促しを行う。

<p>4 メインゲーム（練習試合）を行う。（17分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ①ゲーム（計7分）、②チームで振り返り（3分）、 ③振り返りを生かしたゲーム（計7分）を行う。 ・オールコート3対3 ・1ゲームは前半3分、入替1分、後半3分 <p>S : ○○さんがフリーだよ。パスしよう。</p> <p>S : サイドの人はゴールに向かって走ってみよう。</p> <p>S : ボールを持っている人より前に走ると、パスが通りやすいよ。</p>	<p>○児童が仲間と連携してプレーする意識を高めるために、教師がチーム全体の動きを見ながら「手を挙げたらパスがもらいややすいね」などと声をかけ、よい動きを随時称賛する。</p> <p>○児童が作戦や自身の動き方について試行や改善を意識してプレーするために、教師が「もう少し早く声を出してみよう」「パスの出し方を工夫してみよう」と具体的に助言する。</p> <p>○児童が振り返りで気付いた課題や工夫を生かせるようにするために、メインゲーム後にチーム内で振り返りを行う時間を設け、その後同じチームと再度ゲームを行えるようにして、改善点を試す機会を確保する。</p>
<p>5 学習内容を振り返る。（8分）</p> <p>○本時の活動でわかったことをまとめ、振り返る。</p> <p>【チーム内で（3分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームの作戦の成果や課題 ・ 作戦成功に必要なこと ・ 練習も可 <p>S : もっと早く声を出したほうがよかったかも。</p> <p>S : 自分が動いてるときに、パス出してもらえたのがよかった。</p> <p>S : 合図を出したけど、うまく伝わらなかつたな。</p> <p>【全体で（5分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあて（個人、本時）に対する振り返り ・次時への見通し 	<p>○児童が自分たちのプレーを振り返るために、教師がチーム内で振り返りの時間を設定し、声をかけて回る。</p> <p>○児童が上手にできたプレーにも目を向けるために、教師が各チームに「ここはうまくいったね」と声をかけ、成功体験を意識できるようにする。</p> <p>○児童が成果や課題を実感しながら次に生かすために、言葉での振り返りだけでなく、体を動かして確認できる練習時間を確保する。</p> <p>○児童がめあてに沿った振り返りができるようにするために、本時のめあてを全体で再確認する。</p> <p>○児童が次時への意欲を高めることができるように、成功体験を伴う振り返りができるよう助言する。</p>
<p><振り返り></p> <p>S : 手をあげて合図したら、パスをもらえることが少し増えた。</p> <p>S : 声をかけるようにしたら、味方と少し動きが合つた。</p> <p>S : チームで動くのはむずかしかつたけど、自分から動けたのがよかった。</p> <p>S : 味方の動きに合わせて自分の動きや声かけを変えたら、チーム全体の作戦がうまくいった。</p>	